

WEB 連載 Entertainment・Essay

木村奈保子の音のまにまに

Written by NAHOKO KIMURA

コロナ禍の2020東京オリンピック、チャップリンとレニ・リュヘンシュタールと

木村奈保子の音のまにまに | 第35号

2020東京オリンピックは、コロナ禍により、人々の生活や病床が逼迫するなか、多くの反対を押しのけて、強行断行が、恥ずかしながら世界を駆け巡った。開会式が始まる前も、競技場の前には500人以上のデモ隊が「オリンピック中止」を叫び、始まる前から100人近くの選手や関係者からコロナ感染者が発生した。

それでも、アスリートや式典の出演者たちは、自分の気持ちに拘らない。オリンピック中止論を訴える側もまた、アスリートやアーティストに対する思いだけは横ではたない。だから、ジレンマもある。これから、炎天下とコロナ拡大のなかで、何が起こるのか？世界的なイベントの表と裏を探りたい。

さて、開幕前の式典スタッフのドタバタ騒ぎ、解任劇がすでに世界的な話題となり、またもや政府の後手後手判別が、恥ずかしながら世界を駆け巡った。開会式の批評、感想は巷にあふれているが、アスリートを盛り上げるアーティスティックなショーとしては、実にお粗末な完成度であった。テレビ放送として見ると、大きな事故がなかっただけ、あんなもたらうと安堵した人もいるかもしれない。

私が最も気になったのは、プロジェクションマッピングやドローンやパントマイムのほか、生身の人間のダンスや歌でパート展開する中、最重要のオリンピックのテーマとなる「語り」がぼやかされてしまったこと。映像の上に、女性アナウンサーのしゃべりがかざせられるが、それはショースタッフにより作られたものの、NHKの番組放送用なのかはわからない。

つまり、式典演出の中に組み込まれたナレーションなのか、テレビ放映用の中継として、生で組み込まれたアナウンスメントなのか？

この構成台本の区切りがないため、なんとも落着かない。メッセージ性のあるナレーションを語るアナウンサーなのか、単にアナウンサーのアドリブ中継によるコメントなのか、で聞く側の構えが全然違う。

コメントを入れる間合いも悪く、その場合の演出は誰の責任か、わからない。どこまでも、責任者不在の結果である。

オリンピックの趣旨で、展のアナウンサーがこの場で語るの、おかしい。あくまで、作られたショーを放送するのが局の立場で、ショーを彼らと一緒に作っているわけではない。これが、ショーディレクター不在の原因によるものだとしたら、やはり、式典は大きな失敗と書える。ショーディレクターがいなくても何の問題もなくできるというショー自体が、そもそもおかしいのだ。

昨今、作り手の「世界観」とよく表現されるが、監督の視点（ビジョン）なくして、ただ映像のパーツを切り貼りしたものは、編集映像の羅列にすぎない。

「ショーディレクターを解任しても、彼自身は個別パートをディレクションしていないから、いなくても困らない。開会式はできる」と平然と口走ったJOC様本会長……。彼らにとって、演出や音楽など、どうでもいいのだから。いや、かのディレクターを解任すべきではなかったという意味では、もちろんない。解任も何も、総監督に始まり、作曲からディレクションまで、お仲間で作られてきている。そして本番前に、すべてが白日の下に行き渡る。現場から誰もいなくなった。放送局が、その尻拭いをしたというだけだ。

ちなみに、ピンチヒッターのオープニングで流された「ドラクエ」のテーマ曲を書いたすぎやまこういち氏は、LGBT差別について、あの杉田（水樹）氏に同調した発言でも話題になった安倍広徳団のひとり。もともと、思想的に似た人々のキャスティングだったのかもしれない。最後に、滑り込みセーフとなったようだ。

例えば、森元龍樹や元総監督の女性性表現にはじまり、いじめ加害、ナチスジョークなど、彼らの深層心理にある差別意識が浮き彫りになった。世間が、彼らのちょっとした言葉に急激な攻撃反応を見せたのではなく、長い歴史の中で、我慢を強いられてきた人々の埋もれた思いが爆発したのだと思う。ハラマメントの質の悪さは「感じる」ものだ。人権を本気で考え直す機会なのだろう。

例えば、ユダヤ迫害の歴史は、ハリウッド映画が教科書といえるほど繰り返されてきた。アメリカ映画という「人権のババロア」を見つづけている。何が悪い？何が悪いのか、と今さら精査する必要もない。ただ、作り手の視点（ビジョン）が明確でも、観る側の視点が選ばれていない。歪んでいたりと、正しいメッセージが受け取れないことはあるだろう。

いまやネットによるパッシングは、ちまちまと自分から嫌がらせを仕掛ける不当なものもあるが、まっとうな民意として、痛感する力が働く場合も最近はある。良識的な人々もまた、ネットを活用している時代になっているのだ。

さて、開会式のショーの目的が曖昧のまま進行したが、目的がわかった瞬間がある。

アーティストもアスリートもそっちのけで、最も壊滅的な空気にリズムで、独自の世界観を見せたのは、パッパのスピーチだ。

あれほどまでに長時間の式典で、前代未聞のコロナ禍の危機の中、選手や関係者が疲れているのものとせず、13分もありきたりな話を世界の人々に向けて、スピーチしたのだ。

同じ並びにいる小池都知事が「話、なが〜い！」「もうええわ〜」と、突っ込んでくれたら良かったのだが、何より彼の座席チェックをした人はいないのだろうか？橋本藍子氏と二人で8分の予定のところ、実際は約20分になった。

「女は話が長い」という説は、どこにいったのか？これで、会長が橋本氏ではなく、森氏（元JOC委員長）なら、男性権力者二人で30分を超えるであろうとの予測は、想像に難しくない。

チャップリンの映画「独裁者」のあの感動スピーチは、4分にも満たない。世界平和のための熱い気持ちを伝えなければ、あのような内容や気持ちがあればいいと思う。映画の中のスピーチをなぜ、手本にしないのか不思議だ。

パッパは先に、日本人をチャイニーズと口走り、あわてて訂正した失態を見せたばかりだが、ここでは日本語を交えた挨拶の受け狙いまで用意された。もはや、ガイジンの片言日本語が受ける時代でもなし、まして外では、パッパのホテルや国立競技場前でも、オリンピックを歓迎しないデモもある中、空気を読まないにも、ほどがある。復興五輪どころか、予想通り、笑いも感動もなく、自己陶酔的だった。その人柄も、会っていないのにわかるほど、ヒューマンな魅力に欠ける。

ともかくこの前戯のために、パッパはオリンピックを強行せよと言い続けたのかと思うと、たとえひとりよがりでも、彼を書けたことが悔しい。

一方、天皇陛下の開会宣言は13秒だけで、パッパの嫌にあっていう間に終わった。しかも、陛下の短い宣言時に、彼はスタンディングもせず、途中から立つという失態を見せた。

お楽しみ（あるいは恐怖？）は、これからだ。安倍元首相在任時に、河野達美監督にオリンピックの記録映画を撮らせると聞いた時、ナチス政権下のアドルフ・ヒットラー総統が女優のレニ・リュヘンシュタールを監督にし、自らを主演にしたドキュメントを撮らせたことを思い出した。のちにIOCがベルリンオリンピックの記録映画「オリンピア」を彼女に依頼したことも含めると、ちょっと身震いする。

ただレニの才能と作品の完成度は高く、映像の力によって、歴史に残る映画となった。同時に、レニ映画は、ほかに作品を撮っても、ナチズムのプロパガンダ映画を製作した監督として、生涯、批判にさらされることになる。のちに批判するであろう河野監督の記録映画が、どのような意図をもって、いかなるセンスで作られるのか、注視したい。

レニ・リュヘンシュタール

日増しにコロナ感染が拡大する中、何が何でもオリンピック、開会式ありきで、有観客をぎりぎりまで求めた日本政府の真の目的は何だったのか？この風潮を取りのドイツ人の茶番のためなのか？あるいは、いつかの時代に属したい思想的な一致により、団結した人々の欲望が集結した結果なのだろうか？

しばらくは、オリンピック選手たちの過剰な競技で、メディアの時間は埋められるが、コロナ感染の影響で政府の動きから目を外せない。

木村奈保子

作家、映画評論家、映像制作者、映画音楽コンサートプロデューサー
NAHOKI(ナホキ)デザイナー、ヒーローインターナショナル株式会社代表取締役
www.kimuranahoko.com

NAHOKI Information

木村奈保子さんがプロデュースする「NAHOKI」は、欧州製特殊ファブリックによる「防水」「温度調整」「衝撃吸収」機能の実験ケースで、世界第一級の演奏家から愛好家まで広く愛用されています。
Made in Japan / Fabric from Germany
問合せ＆詳細はNAHOKI公式サイトへ

PRODUCTS

ポシェット「Bandita 2/wf」
リュック式 スコアブリーフケースガード「Ludwich/wf」
ポシェット新作が登場しました。
ポシェットとスコアブリーフのセット持ちなんてもいいかな？
たすきがけのポシェットで、ふと手持ちのブリーフを見たらお揃い！……なんて、素敵です。

【マットライトグレー／細】

【マットブラック】

>>>BACK NUMBER

第28回：楽譜の映画化による、シネマセラピーの時代へ
第29回：「ノースポンスミス」の舞臺は、いつ終わるのか？
第30回：「わきまをえる女」の結代は好きだった
第31回：すべての女性音楽家に「RESPECT」を込めて…
第32回：結代だけがゴールではない
第33回：連れられない別荘と向き合う関係
第34回：時代と闘い、ストリートから世界へ

Facebook Messenger Twitter LINE Youtube 印刷

＜前の記事＞
時代と闘い、ストリートから世界へ

＜記事＞
MeTooの土壌、日本では？ | 木村奈保子の音のまにまに | 第2号
女性の告発に、なぜ目をつぶるのか | 木村奈保子の音のまにまに | 第9号
知るべきすべての音楽の中に――楽譜を通して自分を表現する | 木村奈保子の音のまにまに | 第7号
ヒロックな女たち | 木村奈保子の音のまにまに | 第5号
エリック・クラプトン〜サウダから生き残る物語〜 | 木村奈保子の音のまにまに | 第3号
新しい生活様式とともに、新たな文化を―― | 木村奈保子の音のまにまに | 第22号
今こそ、Go to シアター！ | 木村奈保子の音のまにまに | 第26号
平昌オリンピックと音楽 | 木村奈保子の音のまにまに | 第1号

THE FLUTE お知らせ
THE FLUTE | バックナンバー
FLUTE CLUB入室・更新はこちら
フルート楽譜一覧

ENTRY 投稿・応募
>>> THE FLUTE アンケート一覧へ

KAWAI Music School
レアル新宿
Brand guide
メロノームと手紙
付き合うと楽器がうまくなる
KORG KDM-3
フルート記事
オリビアを聴き過ぎ
SOUNDCLOUD
オリビアを聴き過ぎ
1.5K
オリビアを聴き過ぎ | 吉澤 | 1.5K
おしくてやりきれない | 村と快 | 971
新しいスイートピー | 松田隆子 | 961
若者たち | 森山直太郎 | 645
音楽家 | 山崎孝 | 678
夢をきかぬ | 岡村孝子 | 811
恋はあまぬし | L'amour est bleu | 647
ロビンソン | スピッツ | 873
恋の鐘に恋してる | Can't Take | 640
PIECE OF MY WISH | 今井美樹 | 673
Hello, Again〜昔からある場所〜 | 1K
Can You Celebrate? | 安室奈美恵 | 2K
集けないで | ZARD | 995
恋々 / ムコ | SMAP | 748
AL5Online
フルート楽譜音楽

フルート記事 フルード記事
石井美衣の教えて！コンテスタント
第10回公開
ゲストは秋元万由子さん
前回の神戸国際コンクールで、日本人唯一の入賞となった秋元さん。今年開催の第10回大会でコンテスタントとなった石井美衣さんがインタビューする。これまで経験してきた国際コンクール、もちろん神戸のことも盛り込みます。おつと見ると

石井美衣の教えて！コンテスタント
Contestantz

HOT VIEW
今話題の人気記事
石井美衣の教えて！コンテスタント
第10回公開
秋元万由子

コロナ禍の2020東京オリンピック、チャップリンとレニ・リュヘンシュタールと
片山圭雄のNYジャズ便り 第11回 ~ Memories

山元蓮生の吹奏楽トレーニング！ 第6回

時代と闘い、ストリートから世界へ
WEB連載「フルート楽譜」
フルートしぐしり学
File-20 | 「お酒の失敗」学生編 リンクスのフルートしぐしり学

近頃音楽界のハット・フルートライフ
HAPPY FLUTE LIFE
第23回 インタビュー編「安田優子〜新しい価値観、次の世代へ〜」

大塚愛のフルートライフ
フルートしぐしり学
第13回 | 「ヘルカマズ曲」より「月の夜」

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回

ハーメルンは笛吹き 第7回